



名称	鐘撞堂
よみがな	かねつきどう
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	建造物
所在地	本町
所有者	三原市
員数	1棟
指定年月日	昭和54年(1979)4月21日
構造形式	切妻造 本瓦葺
法量	桁行 3.80m 梁行 3.85m
時代	安土・桃山時代 永禄～天正年間(1558～1592)
公開状況	外観は常時公開
交通案内	JR三原駅から 北西へ500m(妙正寺下)

【解説】

小早川家の陣鐘^{じんしょう}を収めていた堂です。堂は以前、現在の位置より一段下の段にありましたが、享保^{きょうほう}14年(1729)に今の位置に移築されたものです。

なお、この鐘は時刻を告げる鐘として戦前までこの堂で撞かれていたといわれ、市民に親しまれていた堂です。